

平成 31 年度事業計画書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：地域福祉の担い手として、自分らしい生活を続けられるよう支援する

白楽荘みくに湊・短期入所生活介護

1. (短期入所) 利用者、家族が必要な時に安心して利用できる施設として在宅生活を支えていく

介護度や家庭環境の違う利用者の、事故、トラブル防止に努め、利用者が安心して快適に過ごせるよう努める

- ①それぞれの職種が知り得た情報を、発信、共有し、ケアの確認を行う。
- ②一人ひとりの特性を把握し、利用者が望むサービスを提供する。
- ③自宅や他事業所での様子など情報の発信・共有化により、環境づくりや居場所等に配慮する。

2. (入所) 在宅に近い雰囲気の中で、その人らしく生活できるよう支援する

利用者、家族から頼られるように、介護力や接遇の維持向上に努める

- ①介護職として安心できる介護技術の提供と、信頼できる態度と姿勢で接することで、良い関係を築く。
- ②利用者、家族の思いや意見に耳を傾け、定期的に丁寧に対応したケアの展開を図り、最後まで安心して施設生活が送れるよう支援する。
- ③苦情、相談などに耳を傾け、不適切ケアを未然に防ぐ体制を作る。

インフォーマルなサービスを活用し、日常とは違った刺激や楽しみを持ち、地域との繋がりを感じてもらう

- ①一ヶ月に一度コーヒーボランティアやお話ボランティアに来荘してもらう。
- ②地域行事への参加や、自宅に帰省する等、外出の機会を作る。